

聖木曜日 (ヨハネ 13:1-15)

あなたにも、わたしは模範を示した



聖木曜日と聖金曜日は、形は違いますが、イエスが弟子たちにすべてを与え尽くす一日です。聖木曜日は過越の食事の儀式を通して、聖金曜日は命をかけてです。今日、イエスは食事の中でご自身を与えるために、できるすべてのことをしてくださいました。

まずイエスは、この最後の晩餐の席をご自身用意してくださいました。そして食事が始まると、仕えられる者という態度を捨てて、進んで仕える者となられたのです。弟子たちにすべてを与え尽くすため、「先生」という立場さえもご自分のもとに残さなかったのです。

すべてを与え尽くされたイエスが最後に言われたみことばはこうです。「わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするようにと、模範を示したのである。」 (13・15)

先生がするようなことではなく、使用人がするようなことを模範として示された。それは、委ねられた務めの中で、出し惜しみをしてはならない。報いすらも期待してはならない。そうしてすべてを与える者となりなさい。これが最後に与えられた命令だったのです。

イエスが最後に残された模範を見るために、私たちは今晚ここに集まりました。このあと、洗足式があります。何人かの人々が弟子の役割をお願いされています。足を洗ってもらおうこ方々は、自分は教会の中で、どうやって惜しみなく自分を与えることができるだろうか、考えるチャンスを与えられました。

実は足を洗ってもらおう様子を見るほかのすべての参列者も、足を洗ってもらっている人を通してあなたも足を洗ってもらっているのです。足を洗ってもらっている人を見て自分も考え、どうやって惜しみなく自分を与えることができるだろうか、見ている間ずっと考えるのです。

聖木曜日に見たことを、私たちはどこで見倣ったら良いのでしょうか。まずは自宅です。自宅で同居する人との間で、仕えられる者ではなく仕える者となりましょう。「家庭で何かしらの手伝いをする」それでも良いでしょう。あるいは一緒に暮らす人に「これまでかけてこなかった言葉をかけてあげる」でも良いでしょう。私たちは仕える者となるための何かができるはずです。

次、もう一度私たちが聖堂に集まるのは聖金曜日です。「ここに、イエスさまのところに連れていきましょう」年間テーマを実行すべきです。交通手段がなくて聖金曜日に来ることのできない人もいるかも知れない。「私がその人の車椅子となり、杖となつてあげる」こうして自分を砕いてお手伝いしてあげてください。そうすれば必ず、弟子たちの足を洗ってくれたイエスに倣うことができるでしょう。

ペトロは自分の足を洗おうとするイエスにこう言いました。「主よ、足だけでなく、手も頭も。」 (13・9) イエスの模範に倣うためには、頭も、一から洗い直さなければならないのでしょうか。イエスが私たちの不足を洗い流し、主の晩さんにふさわしいものとしてくださるよう、心を合わせて祈りましょう。洗足式にあずかり、また見ることによって、イエスの模範を確かに受け取りましょう。

聖金曜日(ヨハネ 18:1-19:42)